

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○10月27日～

先週 21 日に高市氏が初の女性首相に選ばれたことで相場は一気にリスクオンモードに。
ドル／円、クロス円ともに週後半に向けて順調に上昇しています。
また、株価も日経平均が 5 万円あたりまで上昇し、ご祝儀相場のような動きとなりました。
米国も先週発表された消費者物価指数(CPI)が予想よりも低かったことでインフレ懸念がおさま
り、利下げ期待が高まったことで、米国の株価指数も軒並み高値更新の動きとなっています。
今週は日米欧で金融政策を決める会合があるため各国の金融政策の行方に注目が集まっています。
予想では、米国が利下げ、日本は金利据え置きとなっています。欧州も金利据え置きで、今後 2 年
間政策金利を2%に据え置くとの予想となっています。
ただし、サプライズがないとは限らないので、十分に注意しながらトレードしていきたいです。
また、今週は米国で企業決算なども多く、株価動向にも目を向けておきたいです。
AIバブルがそろそろピークをつけるのではという話もあり、春以降の異常な株価の高騰がどうな
っていくのかも注意して見ておく必要があります。
今月に入ってから仮想通貨や金(ゴールド)が急落するような荒い動きも出ているため急にリスク
回避的な動きに転じるということもあるかもしれません。
そして、今週はトランプ大統領がアジアを訪れています。マレーシア、日本、韓国を訪れる予定とな
っており、高市首相との 28 日の会談にも注目が集まっています。
さらに、中国の習近平国家主席とトランプ大統領の会談は 30 日に予定されています。
台湾問題などが話し合われるようですが貿易問題も気になります。
中国がレアアースをほぼ独占していますが、そのレアアースの輸出規制強化で米国に対して有利な
立場で交渉しようとしています。
他の国が中国に変わってレアアースの供給地になることは現時点では難しい状況です。
このため米国と中国の貿易問題が解決しなかった場合、世界経済にとっても大打撃となるリスクが
あります。
そして、米国とロシアとの関係が悪化してきています。米ロ首脳会談は開催される予定がなくなり、
米国はロシア石油大手ロスネフチとルクオイルを制裁対象に加えました。インドと中国は米国の要
請でロシアからの原油の輸入を控える動きをしています。
また、カナダも政策金利の発表がありますが利下げ予想となっています。先週、トランプ大統領はカ
ナダとの関税交渉を打ち切りました。
米国の政府閉鎖はまだ続いています。いつまで閉鎖が続くかも気になります。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

<ドル／円>

先週は週明けから円安が進んで 152 円台後半でマーケットが終わっています。
まずは、10 月高値の 153. 2 円あたりを試しにいくかどうか注目したいです。
上値は 153. 3 円を超えてくると 155 円あたりまで値を伸ばす可能性があります。
先週安値の 152. 2 円あたりを割り込んでくると 150 円台まで下落してくるリスクがあります。
下値は 150 円を維持できれば円高リスクはなさそうです。
149 円を割り込むような動きになれば、再度 8 月、9 月のレンジ相場に戻ってしまうかもしれません。どのあたりで下げ止まるか注意しながらトレードしたいです。

<気になるクロス円>

クロス円も先週は上昇しているペアがほとんどで、高値更新を目指して上昇してきているペアはどこまで値を伸ばせるかに注目です。
株価が崩れてくるまではクロス円も上昇が続く可能性があります。
ユーロは 178 円手前まで上昇しており、これはユーロ導入以来の高値となっています。
日経平均は史上最高値更新を繰り返していますがクロス円もスイスフランやユーロがどこまで高値を更新していくのか見ていきたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では日銀・金融政策決定会合、日銀展望レポート、植田・日銀総裁定例会見、9 月鉱工業生産などがあります。
米国では 9 月耐久財受注、8 月ケース・シラー米住宅価格指数、10 月リッチモンド連銀製造業指数、10 月消費者信頼感指数(コンファレンス・ボード)、9 月住宅販売保留指、FOMC 政策金利発表、パウエル・FRB 議長定例会見、7-9 月期 GDP(速報値)、前週分新規失業保険申請件数、9 月個人消費支出(PCEデフレーター)、10 月シカゴ購買部協会景気指数などが発表されます。
欧州では、ドイツとユーロ圏で 7-9 月期 GDP(速報値)、10 月消費者物価指数、ドイツで 10 月 IFO 企業景況感指数、ユーロ圏で ECB(欧州中央銀行)政策金利発表、ラガルド・ECB 総裁定例会見などがあります。
ほかには、オーストラリアで 9 月消費者物価指数、カナダで政策金利発表、8 月 GDP などがあります。